



# のびるたけの子

11月号

令和5年10月31日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。  
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。  
【体】健やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にする子を育てます。  
【公開】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。  
人と人のコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

## よりよい教育活動を目指して（その4）

副校長 佐野 圭司

私は、10月2、3日に5年生と一緒に御殿場宿泊体験学習へ、18日には1年生と早淵公園遠足に行ってきました。その2つの行事の引率の際、感じたことや考えたことをこの紙面にて、伝えさせていただきたいと思います。

本校は、行事に取り組む際、「実行委員会」を大事にして教育活動を進めています。この「実行委員会」を立ち上げ、企画の準備や運営を子どもたち自身で進めるようにしています。そうすることで、子どもたちの主体性や協調性を大きく育てることができると考えているからです。

1年生では、学年レク実行委員会が前に出て、レクの内容について説明する場面がありました。この場面に来るまで、子どもたちは、遠足のめあてや設けられた時間などを踏まえて、メンバーと話し合いながら内容を考え、企画してきました。昔でいう「もうじゅうがりに行こうよ」ゲームを、勝田や秋に関係あるものの名前にかえて行い、みんなが楽しんで参加できるような1年生らしい工夫が入ったレクでした。

では、5年生のキャンプファイヤー実行委員はどうでしょうか。1年生と同じような流れで当日まで進みますが、様子はかなり変わります。これまでの経験を生かしたり、学年目標や場所の広さなど視野を広げた考え方をしたりします。企画、運営の質はぐんと上がり、さすが高学年と感じさせるものでした。また、実行委員以外の子どもたちも、メンバーシップを発揮して企画に積極的に取り組んでいました。学年の個性があふれる、この学年だけの、この学年が創ったキャンプファイヤーはとても素敵でした。私は、現5年生が4年生だったときの愛川宿泊体験学習にも引率で行っていたので、たった1年で子どもたちの大きな成長ぶりにとても驚きました。

学校では子どもたちの教育活動を意図的、計画的に行っています。上記のような学年を超えた系統性はもちろん、1年間での系統性も考えています。「実行委員会」。ご家庭でも耳にしたことがある言葉だと思います。この言葉が子どもから出てきたときは、主体性や協調性を身に付けているのだなあと思いつつ、子どもたちのがんばりを温かく見守っていただけたらと思います

**本校は令和5年度創立55周年を迎えます。**